

## 気候/持続可能性への認知度を高めるための債券

ニュースレター | 2021年末

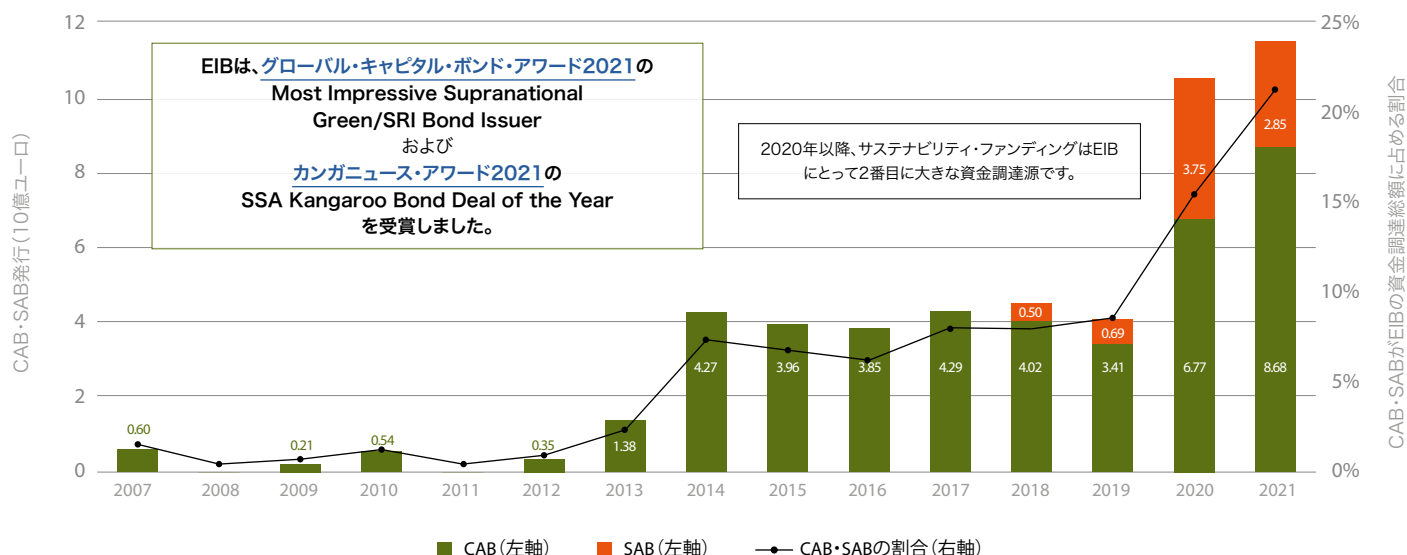
新型コロナワクチン量的配分 (COVAX) プロジェクト、2021年上半期に2億3,000万ユーロのSAB配分額を受領(未監査)

## 債券発行ハイライト

### 過去最大のサステナビリティ・ファンディング

5月に発行した前回のCAB/SABニュースレター以降EIBのサステナビリティ・ファンディング(持続可能性関連の資金調達)は着実なペースで進み、2021年の調達額は115億ユーロ相当と過去最高に達しました。これは、当行の資金調達総額の21%近くにあたり、ベンチマーク・ファンディングに次いで2番目に多い調達となりました。気候への認知度を高めるための債券(CAB)と持続可能性への認知度を高めるための債券(SAB)による資金調達は過去最多の15通貨で行われました。内訳はユーロが46%を占め、米ドル(14%)、豪ドル(13%)、カナダ・ドル(9%)と続いています。EIBのサステナビリティ・ファンディングの通貨構成に、ロシア・ルーブル、オフショア中国人民元、ニュージーランド・ドル、ルーマニア・レウ、ハンガリー・フォリントの新たな5通貨が初めて加わりました。現時点までのCABとSABの合計発行額は22通貨建て501億ユーロで、EIBは国際開発金融機関(MDB)では最大のグリーン・サステナビリティ債の発行体となっています。

9月には2030年償還ユーロ建てCABを5億ユーロ追加発行して発行額をレファレンス・サイズの10億ユーロとしました。10月初旬には英ポンド市場で初となるSABの発行を実現させ、2026年償還のSABを5億ポンド新規発行しました。14億ポンドを超える応募があったこの発行では、SABの適格性を「社会的で手ごろな価格の住宅へのアクセス」に拡大しました。この拡大はSDG11を達成する上で重要な役割を果たします(現在のCAB/SAB適格性の概要については3ページを参照)。この2つの発行は、2020年のCAB枠組みとSAB枠組み(CAB/SAB枠組み)の発表に合わせて実施されました。これらの枠組みは、EUタクソノミーおよびEUグリーンボンド基準案のEIBによる早期適用について詳細に記載しています(詳細は4ページを参照)。この結果、EIBのサステナビリティ・ファンディングを通して、EUのサステナブル・ファイナンス関連法制の進展がもたらすメリットやサステナブル・ファイナンスでのEIBの積極的戦略に市場の関心が引き続き集まりました。2021年のEIBの資金調達は12月に珍しく2027年償還で新規発行されたCAB7億5,000万ユーロが最後となりました。



CABおよびSABの発行は、(a)EIBプロジェクト局によって決定された一連のCAB/SAB適格融資に関するすべての新たなCAB/SAB適格な支出に対し資金の配分を確保する必要があり、(b)市場環境が悪化した場合や発行と支出の季節的な不均衡が生じた場合(後者は一般的に年度後半に発生する)などでも常に資金を配分できるようにするため、予防的な理由からCAB/SAB調達資金の未配分残高を十分多く確保する必要があります。

## 調達資金の配分

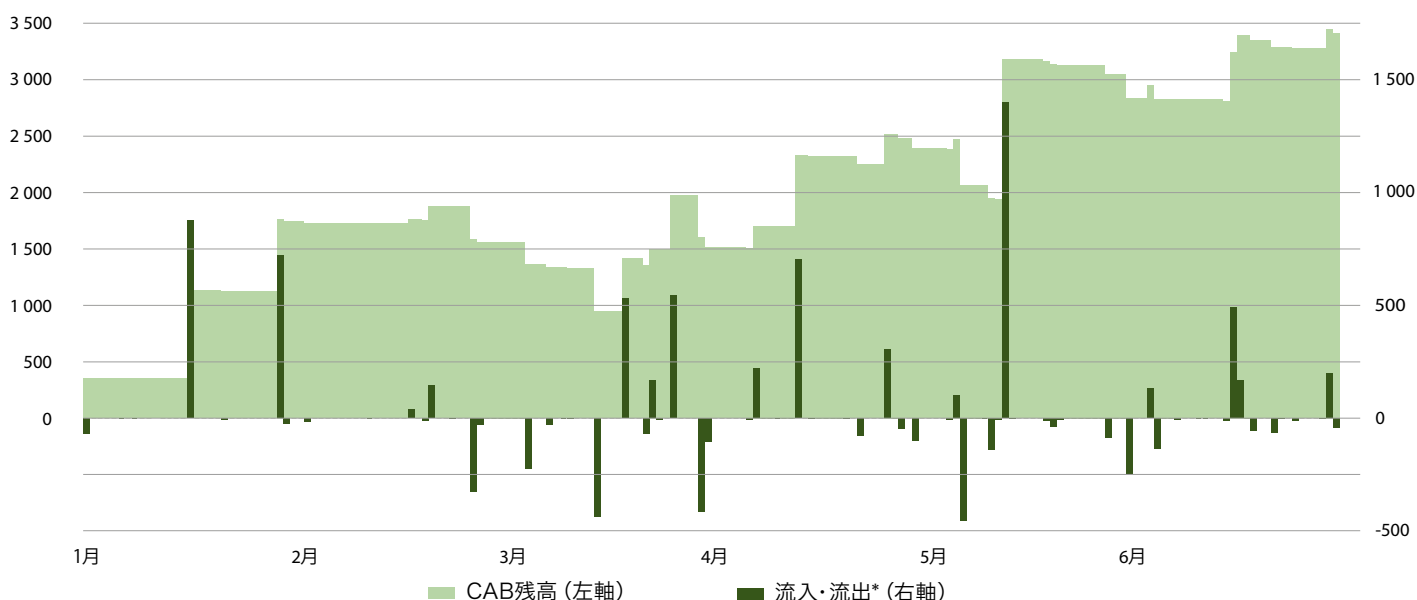
### 気候変動への認知度を高めるための債券(CAB)

EIBは2021年上半期にCABを68億ユーロ発行しました。この期間中に32億ユーロの融資がCAB発行による調達資金の配分上適格となり、EIBの配分手続きに従いCABによる調達資金32億ユーロがこのような融資に割り当てられました。資金調達勘定CABポートフォリオ内のCAB調達資金の未配分残高は2021年初時点で3億5,300万ユーロ、2021年上半期末の時点で34億ユーロでした。

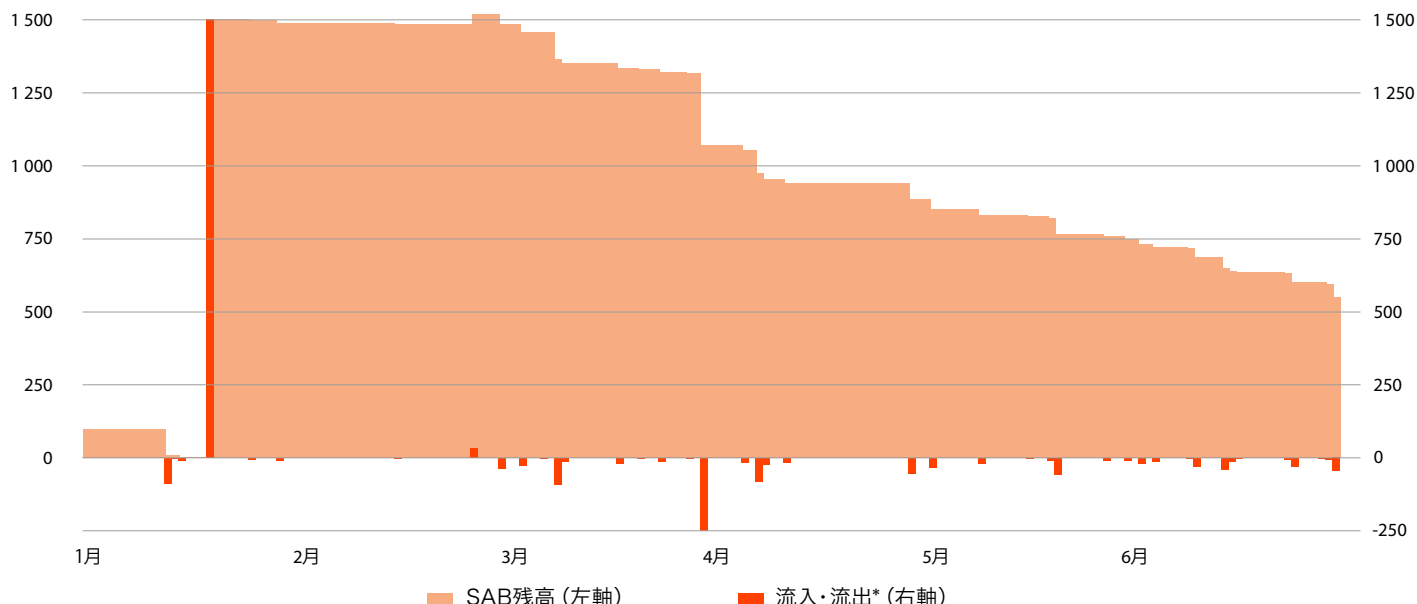
### 持続可能性への認知度を高めるための債券(SAB)

2021年上半期中にEIBはSABを16億ユーロ発行しました。この期間で11億ユーロの融資がSAB発行による調達資金の配分上適格となり、EIBの配分手続きに従いSABによる調達資金11億ユーロがこのような融資に割り当てられました。資金調達勘定SABポートフォリオ内のSAB調達資金の未配分残高は2021年初時点で9,800万ユーロ、2021年上半期末の時点で5億5,000万ユーロでした。

## CAB調達資金の未配分残高(百万ユーロ)



## SAB調達資金の未配分残高(百万ユーロ)

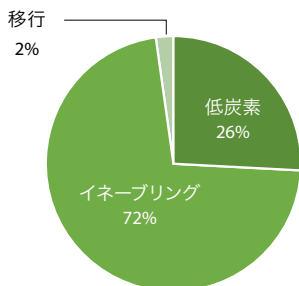


\*流入はCAB/SABの発行であり残高増につながります。流出はCAB/SAB適格な融資実行への資金配分であり残高減につながります。

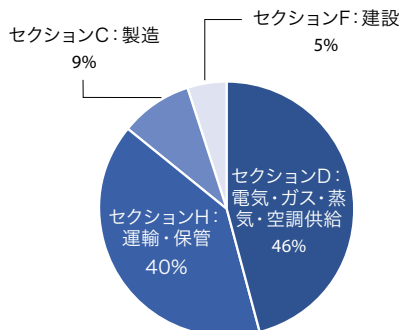
**CABで調達した資金は、気候変動緩和に重要な貢献をする活動へのEIBの融資に分配されます。**

未監査のデータによると、2021年上半期に21か国51件のプロジェクトに対して32億ユーロが分配されました。このうち、30億ユーロはEU加盟14か国での42件のプロジェクトに分配され、2億ユーロは欧州連合以外の7か国で9件のプロジェクトに分配されました。

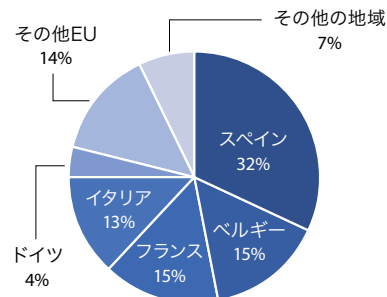
**CABの配分(気候変動緩和への貢献のタイプ別\*)**



**CABの配分(NACEマクロ・セクター別)**



**CABの配分(地域別)**

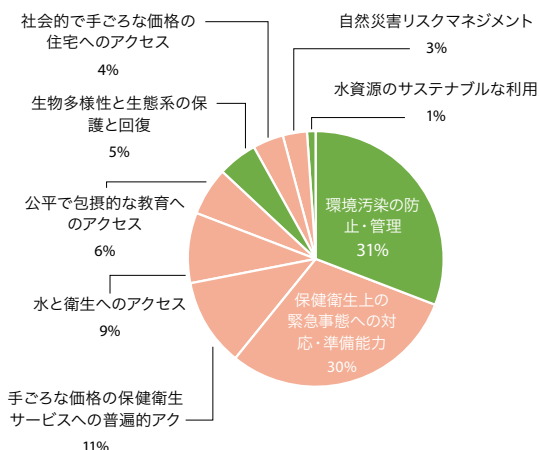


\*技術専門家グループのEUグリーンボンド基準ユーザビリティ・ガイド案は、配分を「低炭素」「移行」「イネープリング(可能にする)」に分類することを求めています。「移行」活動の定義に関してはEUタクソノミー規則第10条第2項、「イネープリング」活動の定義に関しては同第16条を参照してください。

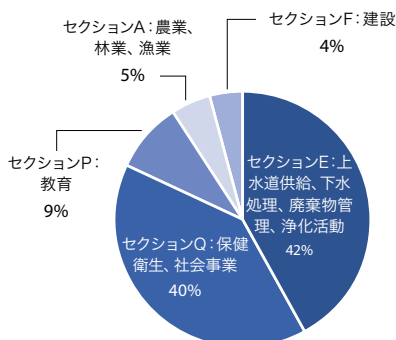
**SABで調達した資金は、気候変動緩和以外の環境的・社会的持続可能性目標に重要な貢献をする活動へのEIBの融資に分配されます。**

未監査のデータによると、2021年上半期に26か国46件のプロジェクトに対して11億ユーロが分配されました。このうち、5億1,100万ユーロはEU加盟11か国での26件のプロジェクトに分配され、5億9,900万ユーロは欧州連合以外の15か国で20件のプロジェクトに分配されました。

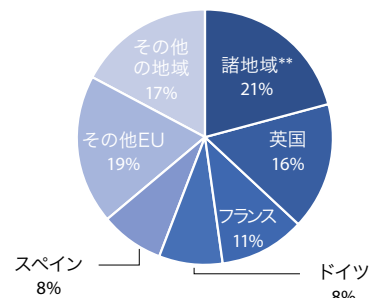
**SABの配分(サステナビリティ目標別)**



**SABの配分(NACEマクロ・セクター別)**



**SABの配分(地域別)**



\*\* 「諸地域」は、アジア、アフリカ、カリブ海、太平洋、地中海の様々な国を支援するSAB適格プロジェクトの「土地劣化中立性ファンド」と「新型コロナウイルスワクチン量的配分(COVAX)」の支援地域を指す。

2021年上半期におけるプロジェクト別、債券別の詳細な配分報告(未監査データ)は以下のEIBウェブサイトから入手できます:

- ・ <https://www.eib.org/en/investor-relations/publications/all/eib-cab-projects-h1-2021>
- ・ <https://www.eib.org/en/investor-relations/publications/all/eib-sab-projects-h1-2021>

## CAB・SAB適格な持続可能性目標 — 現状維持

	気候変動への認知度を高めるための債券 (CAB)	持続可能性への認知度を高めるための債券 (SAB)	
	環境	環境 (気候変動緩和以外)	社会
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動緩和 (2007年)</li> </ul>	<p>これまで:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水と海洋資源の持続可能な利用と保護 (2018年)</li> <li>環境汚染の防止と管理 (2018年)</li> <li>生物多様性と生態系の保護と回復 (2021年)</li> </ul>	<p>これまで:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水と衛生へのアクセス (2018年)</li> <li>自然災害リスクマネジメント (2018年)</li> <li>公平で包摂的な教育へのアクセス (2019年末)</li> <li>手ごろな価格の保健衛生サービスへの普遍的アクセス (2019年末)</li> <li>保健衛生上の緊急事態への対応・準備能力 (2020年)</li> <li>社会的で手ごろな価格の住宅へのアクセス (2021年)</li> </ul>

# 2020年CAB/SAB枠組みはEUサステナブル・ファイナンス法令のEIBによる早期適用を提示

EIBの2020年CAB/SAB枠組み(9月～10月に発表。[こちら](#)および[こちら](#)を参照)は、EIBオペレーションズ評価部門が[CABに関する最近の報告書](#)で示した勧告に沿ってEUタクソノミーとEUグリーンボンド基準を初期的および段階的に適用する当行の戦略について詳述しています(勧告2を参照)。

特に、この文書は以下の点を初めて含んでいます。

- ・ EUタクソノミーの論理と整合的なCAB/SAB管理に関する記述
- ・ 実質的な貢献に関するCAB/SAB技術的スクリーニング基準の開示。CABについて、これらの基準を欧州委員会技術専門家グループがサステナブル・ファイナンスに関して提案している基準と比較
- ・ 技術専門家グループが提案しているEUグリーンボンド基準テンプレートに沿って内容を調整
- ・ 技術専門家グループが提案しているEUグリーンボンド基準の要件に沿った配分・インパクト報告

これまでの年と同様に、2020年CAB/SAB枠組みはKPMGによる監査を受け、国際監査基準3000に基づく独立した合理的な保証を得ています。保証報告書は以下を含んでいます。

- ・ CAB/SAB枠組みは、グリーンボンド枠組み、報告、検証の分野で技術専門家グループのEUグリーンボンド基準案と整合
- ・ CAB/SABプロジェクト適格性基準はEUサステナビリティ・タクソノミーの論理と整合
- ・ 実質的な貢献に関するCAB2020年技術的スクリーニング基準は、低炭素輸送と低炭素テクノロジーの分野で技術専門家グループの基準と整合し、再生可能エネルギーとエネルギー効率の分野で同基準と部分的に整合

これに基づき、EIBは2021年に再生可能エネルギーとエネルギー効率に関しても、実質的な貢献に関するCAB技術的スクリーニング基準を技術専門家グループの基準に整合させました。

## IPSFのコモン・グラウンド・タクソノミーは2017年のEIBの比較分析を一段と進めた、グリーン・ファイナンスの共通言語形成に向けた重要な一歩

サステナブル・ファイナンスに関する国際的プラットフォーム(IPSF)は、COP26で[コモン・グラウンド・タクソノミー報告書](#)(CGT)を初めて発表しました。欧州連合と中国が共同議長を務めるIPSFタクソノミー・ワーキング・グループが策定したCGTは、気候変動緩和に関して「EUと中国のグリーン・タクソノミーの間で共通する領域と相違する領域を提示しています」。同報告書によると、「報告書は、両者のアプローチの共通点と相違点をより明確に、より透明にし、最終的には国をまたいだグリーン投資のコストを引き下げ、グリーン資本の動員を国際的に拡大することを意図しています」。

IPSFの文書は2017年のEIBの画期的な取組みに言及しています。中国グリーン・ファイナンス委員会(CGFC)とEIBは比較分析に初めて取り組み、国際資本市場協会のグリーンボンド原則(目標)とMDB・IDFCが共同で策定した気候変動緩和ファイナンス・トラッキングのための共通原則(カテゴリー)とを基礎とし、2015年中国グリーンボンド承認プロジェクト・カタログを策定しました。この取り組みの結果は、[グリーン・ファイナンスでの共通言語の必要性に関する白書](#)として2017年11月にCGFCとEIBにより共同発表され、またEIBによって、気候変動緩和活動のタクソノミーの骨子を検討していたハイレベル専門家グループに提出されました。

[グリーン・ファイナンスでの共通言語の必要性に関するプレゼンテーション](#)および[COP26期間中に行われた中国銀行とイングランド銀行のトークイベント](#)を参照。

「EIBは発行面でリーダーシップを発揮するだけでなく実務とガバナンスを改善し続けており、他の市場参加者の手本になっている」  
**グローバル・キャピタル**  
記事「EIB:EU法令を活用し持続可能な投資を促進」  
2021年9月

**COP26での  
EIBの主要な  
発表  
[ここをクリック](#)**

### CABおよびSAB — 主なポイント

- ✓ **早期および漸進的な整合:** EUタクソノミーおよびEUグリーンボンド・ガイドラインとの整合性
- ✓ **遵守:** グリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則およびサステナビリティ・ボンド・ガイドラインを遵守
- ✓ **一義的分類:** 配分は1つの主要な持続可能性目標にのみ帰属、二重カウントは不可
- ✓ **適格性の継続的審査:** 融資承認時の決定、融資実行時の再評価
- ✓ **透明性:** 配分は自動化され、発行日後に行われる新たな支出に対してのみ適用、借り換えは不可
- ✓ **説明責任:** 調達資金の使途(債券ごと)および環境的・社会的インパクト(プロジェクトごと)に関する年次報告
- ✓ **信頼性:** KPMGによる独立性を担保した合理的な保証報告書(ISAIE3000)
- ✓ **AAA格のメリット:** 他のEIB債と同格のシニア無担保債
- ✓ **同種機関のリーダー:** MDBの中でグリーンボンドおよびサステナビリティ・ボンドの最大の発行体、22通貨建てで501億ユーロを発行

#### 免責事項

本資料は情報提供だけを目的としています。本資料は証券購入の申出または勧誘ではなく、また、本資料において示される情報は、何らかの契約上またはその他のいかなる種類の義務の根拠となるものではありません。EIBにより発行された証券は、米国証券法において登録されていない限り、米国において、または米国外にいる米国人に対して、提供または売却することができません。その他の国でも同様の制約を受けることがあります。本資料には、予想、見積り、予測および仮定に基づいた将来の見通しに関する記述が含まれています。こうした記述は将来のパフォーマンスを保証するものではなく、予想が困難な一定のリスクや不透明性を含んでいます。実際の将来の結果やトレンドはこうした見通しに関する記述で予想された内容と大幅に異なることがあります。本資料は、公表日現在に限定されたものであり、EIBには公表日以降に発生した事象、状況または予想の変更を反映させるよう本資料を更新する義務はありません。

欧州投資銀行  
サステナビリティ・ファンディング・チーム  
98-100, boulevard Konrad Adenauer  
L-2950 Luxembourg  
[sustainabilityfunding@eib.org](mailto:sustainabilityfunding@eib.org)